

学校だより

津久戸

令和6年3月1日

3月号 新宿区立津久戸小学校

転換の年に

校長 本間 基史

マスコミ等でも散々取り上げられていますように、現在、教員の働き方改革が話題になっています。誤解のないようにご理解いただきたいのは、いろいろな教育課題が雪だるま式に増え、教育現場は飽和状態ということです。そもそも全国的に教員不足が続いています。産育休の教員の代替は見つからず、病休の教員の欠員もないため、管理職が担任に入るケースもあります。事務仕事の増加、デジタル活用の推進、不登校支援、特別支援教育を受ける児童の増加とその対応、保護者対応、部活問題などに追われ、授業準備や生活指導など子供に向き合う時間も削れません。政府はデジタル行財政改革会議で令和7年度に原則、全ての学校でファックスでのやりとりや押印を廃止することを掲げています。校務のデジタル化では他に令和8年度までに全校をクラウド環境にすることや、令和7年度までに生成AIを活用する学校を半分に引き上げることを示しています。校務のデジタル化で仕事内容が精選されて楽になれば良いのですが・・・この4月からは教員の補助としてスクールサポートスタッフ（プリントの印刷など事務補助の仕事）エデュケーションアシスタント（1学年に入って担任の補助、副担任のような仕事）が入ることになりました。また、一斉メール配信については新システム「すぐー」が導入され、学校だよりや学年だよりなどは印刷ではなくデータ配信ができるようになります。また、欠席、遅刻等の連絡も学校のホームページからではなく、メールで送信する形に変更となります。区内の学校では通知表の見直しも行われており、通知表自体をなくす学校もあります。本校は通知表の所見欄をなくし、個人面談等でお子さんの学校での様子を伝えていくようにします。また、授業時数を見直し、週時程も変えていきます。教員の働き方改革は決して楽をするためのものではなく、本来、教員が注力すべき子供に向き合う時間をとるためのものとご理解ください。幸い本校では、保護者の皆様が協力的で、クレーム対応に時間がとられるようなことはありません。引き続き、家庭と地域と連携して健やかな児童の育成に努めます。本年度の学校運営へのご理解、ご協力に感謝申し上げます。そして、次年度もよろしくお願います。

研究の成果

研究主任

「校内研究」は、子供たちによりよい学習の機会を提供するために、私たち教員が授業改善に向け取り組んでいくことを目的としています。津久戸小学校では「心と体をつなぐ健康教育」を主題に、体育科を研究教科に指定して、研究を行ってきました。

体育学習は、運動技能を身に付けることだけが目的ではありません。運動場面を通して、自己の感情や行動を統制する能力や多様性を尊重する態度、互いのよさを生かして協働する力など、非認知能力を育むことができます。

そのために、一人一人が運動課題を明確にもち、解決のための方法を考えて、学習できるような授業が求められています。これらは、体育科のみならず、全ての教科で、さらには社会に出た際に必要な汎用的な資質・能力と言えます。

体育学習を通して、こうした力を育むためには、前提として運動が楽しくなければなりません。今年度、校内研究に取り組み、授業改善に励むことで、多くの児童が体育学習に前向きに取り組む姿が見られました。ぜひ、ご家庭でお子さんと日頃の体育学習について話題にしてみてください。

音楽室より

音楽専科

今年度の音楽集会は4年ぶりに全校児童が講堂に会して歌ったり演奏したりすることができました。1学期には「ラバーズコンチェルト」を合奏し、3学期には音楽委員会の伴奏に合わせて「勇気100%」を元気に歌いました。

3学期はどの学年も、日本の伝統音楽に親しむ学習をしました。2年生は「日本のうたでつながろう」の学習で様々なわらべ歌を紹介し合い、「ずいずいずっころばし」「なべなべ」「あんたがたどこさ」などを歌いながら仲良く遊びました。3年生以上は箏の演奏に挑戦し、音色を味わいながら熱心に取り組みました。



【学年の窓から・・・5年生】

1 組担任

高学年としてのスタートを切ってから早一年。委員会やクラブ活動で様々な役割を担いながら、「高学年としての顔」が様になってきました。また、運動会や学芸会など、力を合わせて一つのものを作り上げる経験が、成長を後押ししてくれました。

その一方で、先日の降雪後は雪遊びを楽しんだり、大縄跳びで学校一位を収めるほど皆で練習したり、楽しむことも忘れてはいません。休み時間になるとお互いのクラスを行き来して遊ぶ姿も見られ、男女分け隔てなく仲良くできるのも5年生の良いところです。

さあ、1か月もすると最高学年です。自分の時間を少しだけ人のために使うことのできる、そんな6年生を目指して、残り少ない3学期を過ごしていきたいと思います。

2 組担任

先日、東京理科大にある近代科学資料館へ体験学習に行きました。科学技術の現代・過去・未来や先人たちの知恵に触れました。知りたかったこと、新たに知ることができたこと、疑問に思ったこと等、多くの子が様々なことに興味をもち、楽しく学びました。帰り道では、「楽しかった」「また行きたい」という声絶えませんでした。

5年生となり、委員会やクラブ活動で様々な役割を担うようになった一方で、学習面でも家庭科がスタートするなど、より多くのことを学ぶ機会が増えました。得意なことがある反面、苦手だなと感じることもあるはずですが、そんな中でも、「楽しい」「やりたい」「不思議だ」と思えることを1つでも多く見つけてほしいです。

いよいよ、4月からは最高学年です。津久戸小をリードしながら多方面にアンテナを張り、興味のあることをたくさん発見し、無限の可能性をぐんぐん伸ばしてほしいと思います。

3月の生活目標

『人の気持ちを大切にしよう』

- ・感謝の気持ちをあらわそう。
- ・みんなでなかよく遊ぼう。
- ・心をこめてあいさつをしよう。
- ・一年間のまとめをしよう。



卒業・進級の時期になりました。生活面、学習面を振り返り、できるようになったこと、もっと頑張りたいことを意識して、4月からの新しい年度につなげましょう。

(生活指導部)

